

情報公開文書

研究課題名	待期手術に持ち込めなかった小児膿瘍形成性虫垂炎の臨床像の検討
研究体制	☒ 長野赤十字病院が責任研究機関となる ☐ 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u> 当 院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ～ 2025 年 5 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 当科では 2000 年 6 月腹腔鏡下虫垂切除術(以下 LA)を開始しました。同年 8 月には虫垂に穴が開く穿孔や周囲に膿がたまった膿瘍などを合併した複雑性虫垂炎 (以下 CA) にも LA を開始しました。膿瘍が限局した虫垂炎には Interval appendectomy (以下 IA と略) を LA により施行しました (以下 IA-LA と略)。IA-LA 施行症例と IA に持ち込めなかった症例の違いを検討したいと思います。 (研究方法) 2000 年 6 月から 2024 年 10 月まで約 24 年間のカルテを調査します。画像診断で膿瘍形成を確認した IA 対象症例は 29 例ありました。IA を達成したグループ 1 と緊急手術に移行したグループ 2 に分け、術前・術中評価と術後経過を検討します。
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテから情報を得ます。
研究対象者	2000 年 6 月から 2024 年 10 月までに小児外科に入院して手術した患者さん ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439